

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化財課古代文化センター長 廣江耕史	電話番号	0852-22-6724
----------	--------------------	------	--------------

事務事業の名称	古代文化研究事業		
目的	(1) 対象	県内外の人々	
	(2) 意図	県内外の人々に、しまねの豊かな歴史文化の研究成果を享受してもらうことで、県民には郷土に対する自信と誇りを高めてもらうとともに、県外の人々には島根県の魅力を知ってもらう。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画運営委員会</li> <li>・古代文化基礎研究事業 特色ある島根の歴史文化に関する基礎研究。①考古基礎資料調査 ②風土記調査研究 ③中世・近世史料の多研究 ④祭祀行事調査研究</li> <li>・古代文化研究事業（テーマ研究） 基礎研究をもとに、外部研究員を交え3年間の共同研究を実施。歴博企画展とする。</li> <li>・調査研究成果の情報発信事業 上記研究成果を刊行物・シンポジウムなどで情報発信。①『古代文化研究』 ②『しまねの古代文化』 ③『古代出雲ゼミナール』 ④テーマ研究報告書、など</li> </ul>		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 公表された調査研究成果物の件数	目標値		17.0	17.0	17.0	17.0	件
		取組目標値						
	式・定義 公表された調査研究成果物の件数	実績値	17.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	29,531	33,144
うち一般財源 (千円)	28,427	32,153

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

各研究項目は単年度の成果を確実に達成している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

連続講座記録集「古代出雲ゼミナール」については、増刷分の販売権付の印刷契約とすることで、印刷経費を削減するとともに、書店での販売により一般の人が入手しやすい形とした。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
テーマ研究がスムーズに古代出雲歴史博物館の企画展に連続しない。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
テーマ研究運営にあたり、将来の企画展を見据えた研究がおこなわれていないため。
- ③原因を解消するための「課題」  
古代文化センターと展示をおこなう古代出雲歴史博物館でのテーマ研究に関する意見の交換を密にし、展示計画を早期に検討する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

古代文化センター・古代出雲歴史博物館でのスタッフ会にてテーマ研究の進捗状況、展示案についての意見交換を実施。古代出雲歴史博物館で展示の検討会議を実施。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）